

人を対象とする医学系研究に関する倫理指針対象外研究

第1章第3適用範囲,1のウの にあたる。

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	神奈川県悪性新生物登録事業にて収集されたデータを用いた、がん種横断的な罹患と死亡に関する疫学的研究
	研究目的	厚生労働省の死因統計によると、日本人の3大死因は、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患であり、(1)これらの疾患は対策を優先すべき疾患として一次から三次予防を目的とした医療介入・政策が実施されている。このように、死因および死亡数を経年的に調査することは、種々の疾病が社会的にどのようなインパクトを持つかを明らかにすると同様に、保健的介入の有効性評価という側面からも、公衆衛生上重要な知見である。同統計によると、0歳では男女とも悪性新生物で将来死亡する確率が最も高い、とされているが、一方で、高齢化やがんの早期発見・早期治療、あるいは治療の進歩により、がんの生存率は経年的に上昇傾向にある。これは、神奈川県悪性新生物登録事業の報告からも、同じように観察されている。このように、がん罹患者が長期生存するようになってきているが、そのがん罹患者がどのような要因で死亡しているかに関しては、ほとんど明らかとなっていない。従来のがん登録等を用いた生存解析において、がん以外の死亡は「その他の死因」として扱われてきたことからこのことが伺える。全国がん登録によってがんに関する情報が全国規模で収集されるが、死亡に関しては死亡日のみが収集され、詳細な死因情報は全国がん登録では収集されない。これに対し、神奈川県悪性腫瘍登録事業では、より詳細な死亡に関する情報（死因等）も収集されている。神奈川県悪性新生物登録事業のデータを用いて、その強みといえる死因情報を用いて、がん種を問わず種々がんの死因解析を行い、がん種毎に差異があるかも含め調査を行う。
	研究期間	2017年3月23日から2020年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他(匿名化された) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	成松宏人
試料・	当センターでの実施診療科/部局等	がん予防・情報学部

情報を 利用す る者の 範囲	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし
-------------------------	-------------------------------------	----